



COSMOS  
APPROVED

# カネカ・サーファクチン

## KANEKA Surfactin



発酵由来の天然界面活性剤  
～発酵のチカラで、未来が広がる～

# KANEKA

カガクでネガイをカナエル会社



7つのアミノ酸からなる  
ペプチドリング

## D相のチカラ

カネカ・サーファクチンは極少量で水も油も内包できる安定なD相を形成できます。両連続相ともいえるD相はオイルジェルなどのクレンジング剤や微細化粒子乳液の作製に適しています。

※D相とは界面活性剤と多価アルコールで構成される相です。

## 透明オイルジェル

調製例

カネカ・サーファクチン	0.5%~1%
グリセリン	20%
油	70%~80%
水	適量（油種類による）

## D相エマルジョン

- 平均粒径は1 $\mu$ mの微細粒子のエマルジョン、抜群の安定性
- 10%の油に対し、僅か0.1%のカネカ・サーファクチンで乳化可能
- 唯一の乳化剤として使用されているカネカ・サーファクチンは極少量なのでベタつかない

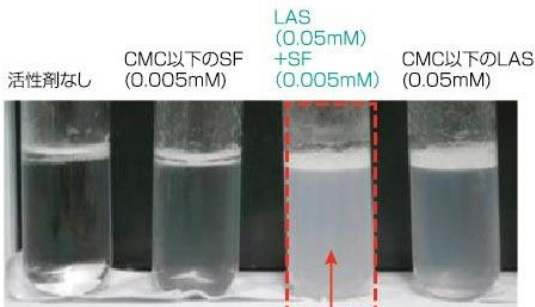
※感触に関しては個人差あります。

カネカ・サーファクチンで作製したD相エマルジョンはオイルリッチなのにさらさら



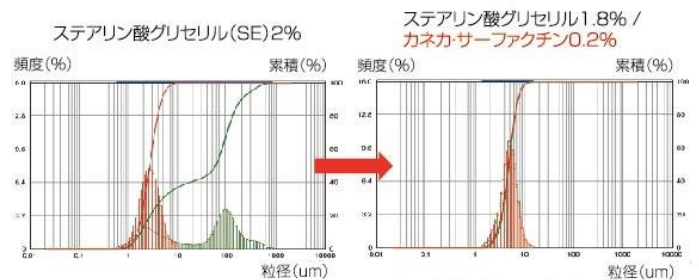
## 助剤効果

- アニオン性界面活性剤使用量の低減  
大豆油と乳化剤水溶液のエマルジョン(25℃、1日静置)



LASに対して10mol%のSF添加で乳化可能  
※SF: カネカ・サーファクチン

- ノニオン性界面活性剤の乳化安定性の向上  
スクワラン 20%の乳化試験



赤: 調整直後 緑: 50℃、8週間

※SF: カネカ・サーファクチン

## 製品特徴

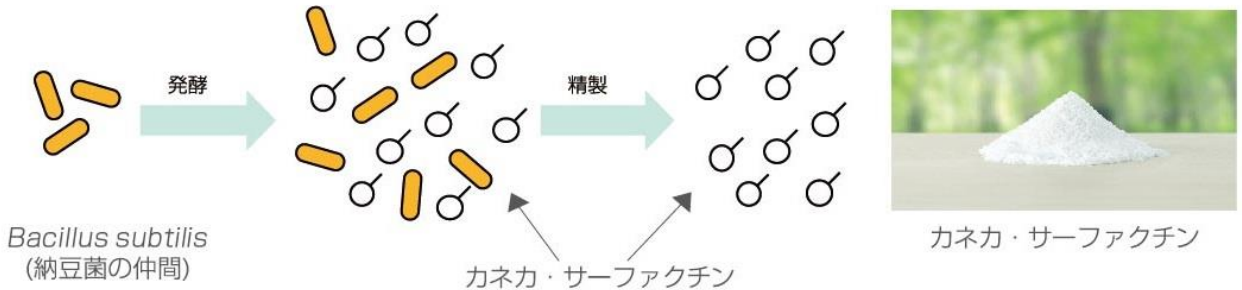


- 低刺激性かつ易分解性の**天然界面活性剤**
- CMC(臨界ミセル濃度) 0.0003%という**高い界面活性能**
- 合成品とは異なる独特な構造に起因する**特殊な性能**

## 製造工程



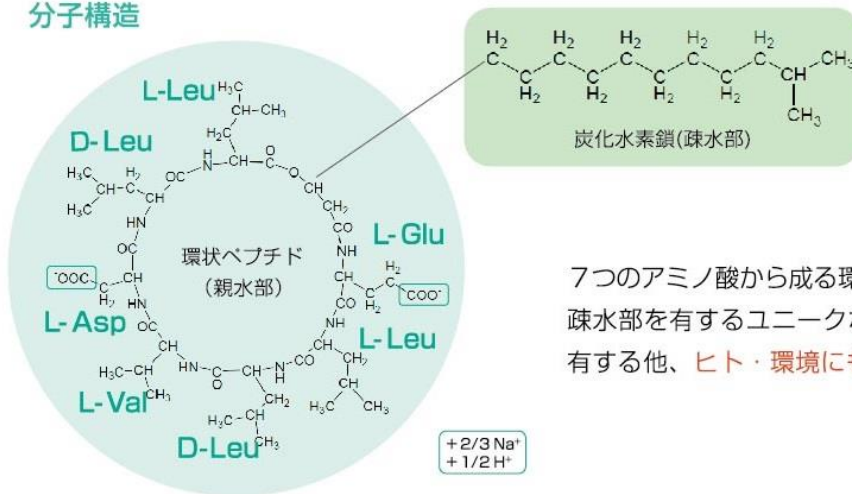
- 常温・常圧のマイルドな条件で発酵生産



## サステイナブル

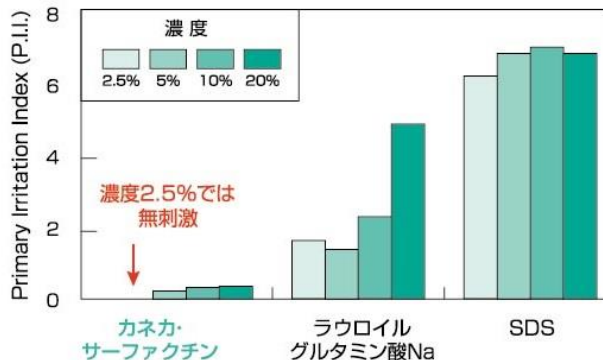


### 分子構造

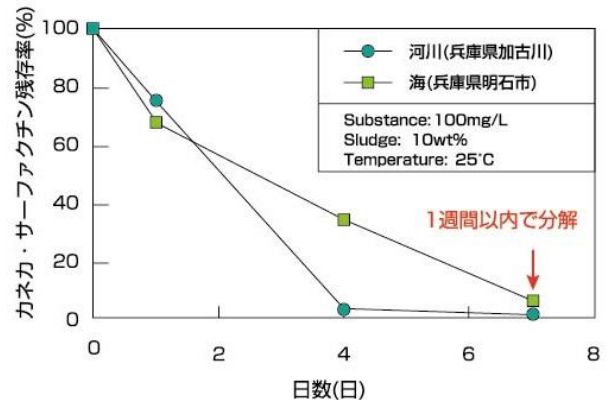


7つのアミノ酸から成る環状ペプチドの親水部と炭化水素鎖の疎水部を有するユニークな分子構造によって、特異な機能を有する他、**ヒト・環境にも優しい界面活性剤**です。

### 皮膚一次刺激性試験結果



### 生分解性試験



## 製品情報

製品名	カネカ・サーファクチン
成分表示名称	サーファクチンNa（化粧品）、サーファクチンナトリウム（医薬部外品）
INCI name	Sodium Surfactin
CAS No.	302933-83-1
含有量	>90%
外観	白色ないし黄白色の粉末
梱包	カートンボックス1kg/5kg
原産国	日本

## 参考情報

界面活性能	CMC: 0.0003 wt% (Wilhelmy 平板法@25℃)
熱安定性	1%重量減少温度：232℃(粉体、空气中)
溶解度	水、アルコールなどの極性溶媒に溶解 (Mg <sup>2+</sup> 、Ca <sup>2+</sup> 等2価金属イオンの共存下で沈殿を生じる場合有り)
推奨使用pH	pH6.5～8.0 (酸性pHによる沈殿を生じる場合有り、pH>10の強アルカリ性に対して不安定)
海外物質登録	REACH(欧)、TSCA(米)、IECSC/IECIC(中)
オーガニック認証	COSMOS、Ecocert
主要用途	化粧品、医薬部外品

お問い合わせ先: